



かもじろう



水力



太陽光



水力

電気のある今の暮らしを 続けるために…。

発電方法にはメリットもデメリットも…。

だから、それぞれを組み合わせることが大切です。



火力発電



ウラン



石油



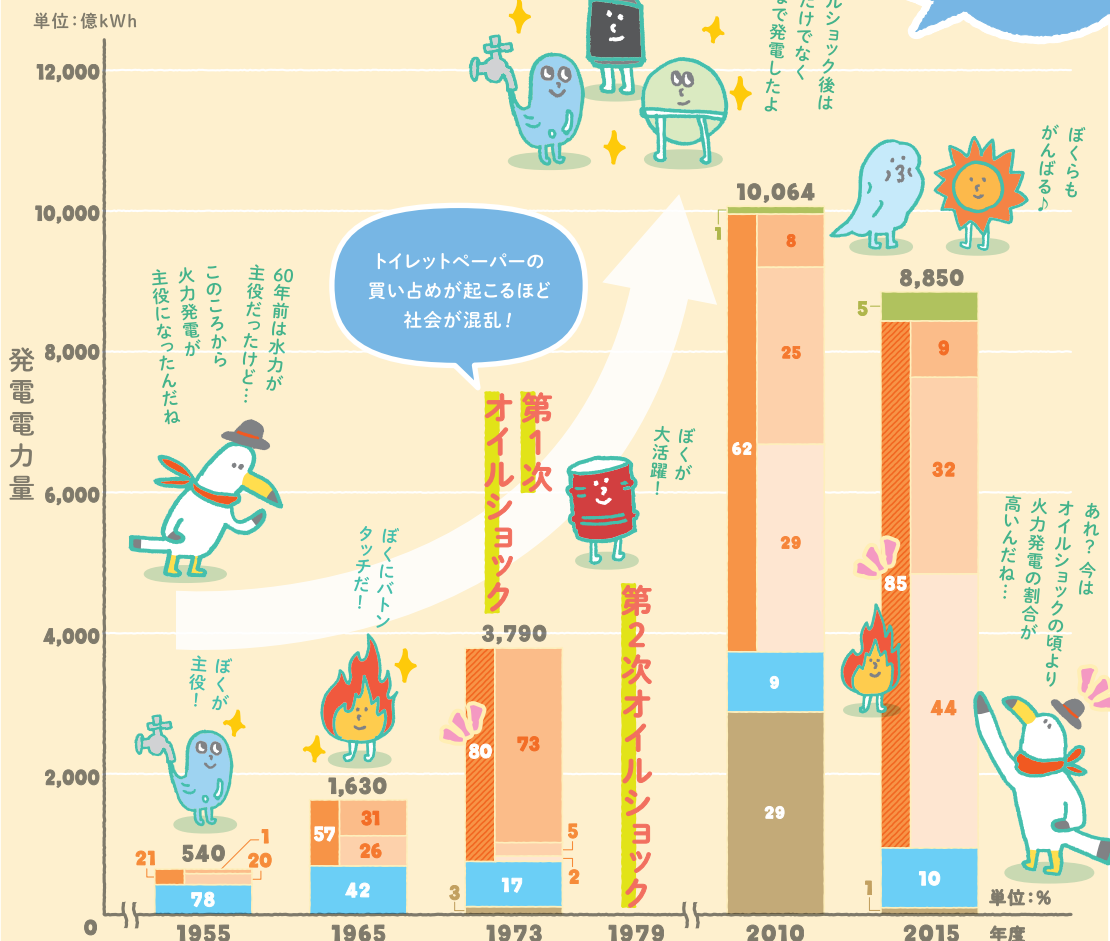
LNG



石炭

これまで、どんな発電方法が活躍してきたのかな。
推移をみてみよう。

暮らしが便利になるにつれ、
必要な電力量も増えてきました。



※10電力計、他社受電分を含む。石油等にはLPG、その他ガスを含む。グラフ内の数値は構成比(%)。* 四捨五入により、合計が100%にならない場合がある。* 地熱は再エネに区分

福島第一原子力発電所の事故後、原子力発電に対して不安をお持ちの方は多いと思います。中部電力はくらしに欠かせないエネルギーを安定的にお届けするという責務を持つ会社として、皆さまに「エネルギーのこと、そして浜岡原子力発電所の今」をお伝えしたいと考えています。「ミラエネだより」では、なるべくわかりやすく紹介することで少しでも多くの方にお伝えできればと思っています。



さまざまな発電の
メリット・デメリット

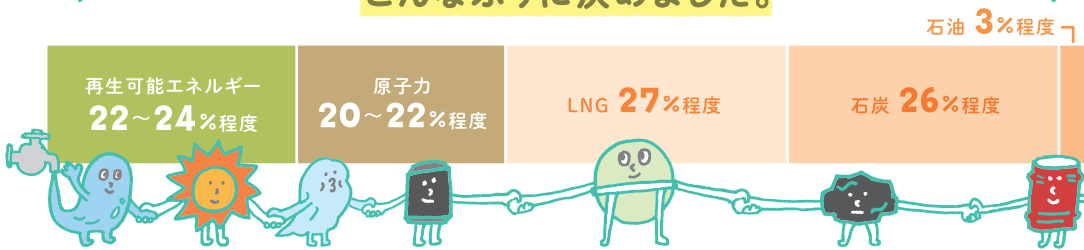
環境のことや限られた資源のことを考えると、
どれが一番とは言えないのが現状です。



それぞれ個性が
あるんだね

<p>発電量の安定性は？</p>	<p>安定して発電できる</p>	<p>お天気次第で変わってしまう</p>
<p>発電時に CO₂を出さないのは？</p>	<p>CO₂を出さない</p>	<p>CO₂が出てしまう</p>
<p>限られた資源を 使ってしまう…</p>	<p>使わない</p>	<p>使ってしまう</p>

国は、「2030年度の望ましい発電方法の組み合わせ」を、
こんなふうに決めました。



こうして
手を取り合っ
ているのかも



かもじろうの発見!



みんなの個性がうまく
組み合わせれば、
電気のある便利な
暮らしが守れるの
かも

上のように環境や安定性など、いろいろな視点から比べてみると、どの発電方法もメリット・デメリットがあります。どれがいいとは言えないからこそ、ひとつの発電に頼るのではなく、それぞれが少しずつ力を出し合って、互いを補い合うことが必要なんです。

そのために国は、さまざまな発電方法を組み合わせた「エネルギーミックス」の目安として、2030年にめざす割合を打ち出しました。これまでのように、あたりまえに電気が使える暮らしを守るためにも、さまざまな課題をクリアするベストな組み合わせを、考えていきたいですね。

みんなで補い合っ
て暮らしを守る



中部電力

広報部 コミュニケーション推進グループ お問い合わせ:052-951-8211 平日9:00~17:00(土日祝、12/29~1/3は除く)